

学習には、3つの段階「理解」「定着」「応用」があります

開倫塾

塾長 林 明夫

おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。栃木県内でも色々な所で花火大会が行われています。今夜7時～9時まで足利市で全国でも有数の素晴らしい花火大会がありますので出かけてみてはいかがでしょうか。昔、スペインのバスク地方にあるサンセバステアンに行った時、花火大会が行われていました。1週間にわたって毎日20分間行われ、世界各国の花火が打ち上げられるおもしろいのもでした。日本からも参加していたようです。花火の後は色々なイベントがあり、私のいた日は火の祭りでした。牛の飾りを頭にかぶった人が先頭を走り、爆竹を鳴らしながら皆が町中を走り回っていました。花火大会を1日でやってしまうのもよいですが、何日か続けて行うのも1つの方法だと思いました。イギリスのエジンバラではクラシック音楽に合わせて花火を打ち上げています。クラシック音楽と花火の組み合わせがよく、趣のある素晴らしいものです。宇都宮では7日、8日とふる里みや祭りが行われます。色々な催しに行き、夏を楽しんで下さい。

今日は勉強の基本についてお話させていただきます。勉強には3つの段階があります。1つ目は「うん、なるほど」と理解する段階。学校や塾で新しい事を習った時、腑に落ちることです。これは誰もがしますから差があまりつきません。ここで大事な要因は先生です。「うん、なるほど」と納得できる教え方をして下さる先生に出会うといいですが、そうでない人は本や参考書を使って勉強するしかありません。第2段階の定着が問題です。第1段階で「うん、なるほど」と理解しても、あっという間に忘れてしまいます。では、どのように定着させたらいいか。まずは定着のしたといえる条件は何も見ずにスラスラ口について言えること。何も見ずに楷書で書けること。楷書とは、丁寧に書いて誰にでも読める字です。最近は文字が躍っている、はねができていないなど、楷書で書けない人が多いようです。これは入試や就職試験、一般試験などで不利です。第3段階は応用です。中間、期末テスト、入試、英検、就職試験などで合格点が取れる。また、社会で役立てることができる。例えば先程お話しした足利の花火大会やふる里宮祭りにはどのように行ったらよいのかなど。学習した地理の勉強を実際の生活で使える。これを応用の段階といいます。

このように学習には、3つの段階「理解」「定着」「応用」がありますので、頭において勉強して下さい。「定着」「応用」は自分の力でやるしかありませんから、夏休みなど自由な時間がある時に十分行って下さい。暑い日が続きますが、このような時は健康を維持することが大事です。栃木県内の素晴らしい温泉地でリフレッシュしてください。これにより栃木県や温泉地の経済の活性化や再生に繋がり、健康維持もできます。是非、ご協力ください。